



年頭のご挨拶

一般社団法人中国ニュービジネス協議会
会長 細川 匡



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、平成29年の新春を恙なくお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年の日経MJヒット商品番付の東西小結に、大谷翔平と広島がランクイン。緒方監督の「神ってる」は、流行語大賞にも選ばれました。卓越した個人の活躍、チームの躍進は、ファンのみならず地域をも活気づ

けることを教えられました。そして改めて思うのは、会社経営とプロ野球の根本的な違いです。

カープが優勝を決めた9月10日まで67年間の通算成績は、4,122勝4,496敗の負け越し。しかしプロ野球では、こうした過去の数字を引きずることなく、年が変わる毎に過去の全てをご破算にして新たなスタートを切ることができます。

一方で会社経営は、一日一日、一年一年の積み重ねが際限なく続き、年度が変わっても従来の業績が帳消しになる訳ではありません。だからこそ一日一日、一年一年を大切にすると同時に、長期的視野に立った挑戦が必須であると確信します。

リーグ制覇達成の余韻が残る日本シリーズ第6戦において、残念ながらカープは日本ハムに完敗。シリーズ前に緒方監督は、「我々は挑戦者！果敢に挑戦する覚悟！」との決意を述べておりました。

しかし、抜群の成績で優勝したシーズンの成功に浸り、さらには初戦、第2戦での快勝を過信。シーズンでの成功体験に溺れ、勝利の方程式からハミダシ挑戦することを恐れ、マンネリ化した采配に終始しました。実に敗因は、その一点にあると推察します。

緒方監督に限らず、私たち企業経営においても同様です。何事によらず成長の大敵、衰退の第一歩はマンネリズムにあることを再認識させられました。

私の定義するマンネリズムとは、日々の仕事が一定の枠に嵌ってしまい、独創性や新鮮さを失って単なる作業に陥ること。結果として商品、サービス、個人、組織の全てにおいて、活力を失い疲弊することを言います。

このマンネリズムを防ぐには、「明確な目的を持ち続け」「良質の刺激を受ける」ことが肝要であると思考する次第です。

昨年6月、前任の柏原伸二会長の指名を受け、浅学菲才をも顧みず、私は当協議会の会長に就任いたしました。これまで諸先輩が培ってこられた歴史を大切にしながらも、「マンネリズムの打破」を大命題として、協議会の刷新に取り組んで参る覚悟です。

本年も絶大なるご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、会員企業の益々のご繁栄と皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

〈お祝い〉

柏原前会長が藍綬褒章を受章

平成28年秋の褒章において、弊協議会の前会長で現在顧問を務めていただいております 柏原 伸二 氏（株式会社カシワバラ・コーポレーション 取締役会長）が、弊協議会での活動を通じての産業振興の功績により藍綬褒章を受章されました。

2016年12月18日には、岩国国際観光ホテルで「感謝の集い」が開催されました。

日本ニュービジネス協議会連合会の池田会長をはじめ、山口県選出の国会議員、各界の著名な方々など、総勢170名を超える皆様が出席され、柏原氏のこれまでのご功績への賞賛とともに、受章に対するお祝いの言葉を贈っておられました。



女性の感性を活かした観光&食のプロデュース事業がダブル受賞！

2016年11月25日徳島で開催された、公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会（略称JNB）主催、第11回ニッポン新事業創出大賞で鳥取支部 ブリリアントアソシエイツ株式会社（代表取締役 福嶋 登美子 氏）が最優秀賞 経済産業大臣賞／地方創生賞を受賞されました！

〈福嶋氏コメント〉

起業家デビューの遅かった私も、起業して12年目を迎える事ができました。NBCに学び、NBCで育ったと感謝しています。

このたび、第11回ニッポン新事業創出大賞 最優秀賞 経済産業大臣賞と地方創生賞をダブルで受賞致しました。授賞式当日も、思ってもみなかった事でしたので、名前を呼ばれても、暫く何が起きたのか？わからない状況でした。司会者に「ビックリされています。」と言われて、「私の事なのだ」とようやくわかるような受賞の場面でした。ステージ中央までどのように歩いていったのか？覚えていません。今日までの多くの皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。

次の目標は女性らしいエレガンスパワーでネットワークを広げて行く事です。素敵な輪が広がればと願っています。





◆鳥取支部

支部女性部会の意見交換会を実施〈8月30日 於：大榎庵〉

本年度活動について、会員企業経営者向けのものばかりではなく、会員企業の女性社員を活動的にするものにも取り組む方向で意見交換しました。

◆島根支部

活動情報共有会を実施〈11月29日 於：ホテル白鳥〉

第1部は中国NBC活動共有とし、会員限定で活動状況を報告。第2部は会員外にも参加をいただき、中国経産局長尾経営支援課長による中国地域の経済分析と助成金の情報提供をいただいた。また、第19回中国地域ニュービジネス大賞優秀賞を受賞された(株)コーポレーションパールスター 代表取締役 新宅社長に、受賞後の事業活動等についてご講演いただきました。また、第3部を交流会とし、島根支部会員企業の半数以上にご参加いただきました。



◆備後支部

異業種交流会「びんご5：01クラブ」を開催〈4月27日&12月1日 於：福山市ものづくり交流館〉

異業種交流でびんごを盛り上げたいという熱い想いのある方が集まり、各回とも100名近い参加者がありました。地元のクラフトビールや、地元で醸造したソースを使った小魚料理など地元ならではの産品が提供され、地元談議に花が咲きました。



◆広島支部

支部役員と女性部会会員の交流会を開催〈8月9日 於：TRAINROUGE〉

〈12月22日 於：和飲屋ビストロ・ド・イベントス〉

女性部会の活性化を図るため、支部役員との意見交換を目的とした交流会を実施。

8月は夏から運行のビール電車を貸切りました。12月は㈱EVENTOSの中川社長の卓話付、ワイン&ディナー会を開催しました。

◆山口支部

女性部会定例会を開催〈5月27日&8月25日&11月24日 於：ルルス防府ほか〉

部会員が輪番で卓話を行い自己研鑽を図るとともに、お互いの近況報告等を通じてモチベーションアップにつなげていきます。

スタディーツアー in 萩〈10月5、6日…中止〉

台風接近にともない。残念ながら中止となりました。

〈受託事業〉

● 9月27日「キラリ女子フェス」

広島市中区の広島市まちづくり市民交流プラザにて、未来のわたし発見プロジェクト「キラリ女子フェス」を開催しました。

自分の夢に向かって頑張る主婦や子育て中のミセスたちが特技を生かしたブースを出店。事務局は「あなたの夢 応援コーナー」として起業を目指している人の相談ブースを開設し、対応しました。

共催/広島リビング新聞社



キラリ女子フェス

●11月19日 ママフェスタ2016 in 広島

広島市中区の基町クレドホールにて、ママたちが企画した手作りイベント、「ママフェスタ2016in広島」に参加しました。

会場には、自分の趣味や特技を活かして店を運営しているママさんのブースが約100店！事務局は「起業相談ブース」を出店。会場の様子に触発され「私も何か始めたい！」と相談に訪れる方もいました。

主催/ママフェスタ2016in広島事務局



ママフェスタ2016 in 広島

●12月9日 “魅せる写真”の撮り方ワークショップ in 鳥取

鳥取市内、「MIRAI restaurant&cafe」にて、ネットショップやSNSで情報発信をする際の鍵を握るといわれているフォトジェニックを意識した“魅せる写真”の撮り方のセミナーを開催しました。

講師：世羅高原カメラ女子旅主宰 吉宗五十鈴さん

●12月17日 私らしく働きたい！起業のカタチを見つけ in 島根

松江市、「巴の蔵」にて、女性起業家宮崎さんを迎え、宮崎さんのこれまでの起業ストーリーや、これから何か始めたいと考えている人たちのはじめの一歩となるきっかけをお話しいただきました。ランチ会では参加者同士の交流も盛んで、今後の活動の仲間づくりの一助にもなりました。

講師：(株) Woman's代表取締役 宮崎結花さん

●11月30日 起業をめざす女子たちのお気軽相談会

事務局（中国NBC内）の会議室で、中小企業診断士でもある事務局スタッフによる「企業ってどうするの？」と題したミニセミナーも開催。開業届の出し方やその必要性などを話しました。相談会では、起業にむけたアイデアや働き方について相談がありました。



お気軽相談会

イベント開催のご案内およびご報告はホームページをチェック

魅力発信グランプリ2016 開催

12月3日（土） 広島市内YMCA 文化ホールにおいて、魅力発信グランプリが開催されました。

「魅力発信グランプリ2016」とは、企業の若手社員と地元の大学生がチームを組んで「就活生がエントリーしたくなる採用パンフレット」を作成するプロジェクトを通して気づいた、就活生と会社のギャップの情報は何だったのかについてのプレゼン大会です。

「入社後2、3年間の仕事のプロセスや社内行事を紹介し、入社後の将来像のイメージを分かりやすくしたもの」、「女性を雇用したいので、女性好みのカラーを使い、まず手に取ってもらうことを重視したもの」、「学生が自分の足でアンケートを集め、学生の生の声をデータ化したもの」など、学生目線を活かし、就活生と会社のギャップの解消を目指した個性的な採用パンフレットが発表されました。

会場は、参加チーム（企業&学生）及び一般観覧者（約180名）でほぼ満席状態。多くの方が資料を広げ「学生の知りたい情報と企業がPRしたい情報」の発表を熱心にメモされている姿が印象的でした。

<受賞チーム>

最優秀賞 東洋電装（株）「東洋電装そーだったの化計画」（広島修道大学/広島工業大学）

優 秀 賞 関西エックス線（株）「Finding×Chappeal」（安田女子大学/広島経済大学）

敢 闘 賞 （株）バイタルリード「学生リードLEAD Student」（島根大学）

<他 参加企業チーム>

（株）EVENTOS 「CARAGANA EVENTOS !」（県立広島大学）

（株）ラックス「BaLUCKS ! Sunshine（太陽社員）」（福山市立大学）

（株）アクシス「アクシストプロジェクト」（公立鳥取環境大学）

日進工業（株）「ラベンダープロジェクト」（山口県立大学/山口大学）

（株）アデリー「仲間（かぞく）を増やそう!」（山口大学）

デリカウイング（株）「DW GO project」（広島大学）

豊和（株）「HOWA NEED GREEN」（就実大学）

※ 「 」はプロジェクト名、（ ）は参加大学



「魅力発信グランプリ」で見えてきた 会社が伝えたいことと学生の知りたいことのギャップとは？

今年度の魅力発信グランプリは、採用パンフレットについて、会社が伝えたいことと学生が知りたいこととのギャップを洗い出し、学生に見てもらえる採用パンフレットを作ることを目的に実施しました。その結果、次のようなギャップが見えてきました。

会員企業の皆様の今後の採用活動の一助としていただければと思い、まずは会員様向けに本誌にてお伝えします。また、後日ホームページにて一般公開する予定です。

○採用パンフレットと会社案内は別物

中小企業では、会社案内を採用活動時に配布することが多いようです。しかし、取引先に自社を知っていただくパンフレットと採用のためのパンフレットでは、目的が違います。目的が違えば、アプローチする方法や内容、言葉のチョイスまでが違ってしまうことを改めて認識しました。就活生にパンフレットを手にとって欲しいと思うならば、「この会社ってなんだろう?」「おもしろそう!」という動機を起こすための工夫が必要です。

○学生への情報提供は2段階ある

中小企業の採用活動で大切なことは、「パンフレットを手にとってもらい、会社の存在を知ってもらうこと」です。そのファーストステップは、会社説明会や合同面接会などで、自社を知らない就活生に興味を持ってもらうために配布する段階。次のステップは、自社に少しでも興味を持ち、能動的に企業にコンタクトをとってきた就活生に「会社のことをもう少し詳しく知ってもらう」ことを目的とする段階です。ここでは、ターゲットの明確化やその段階にあった内容をパンフレットに掲載することが大切だということが、今回の魅力発信グランプリで明確になりました。

○会社の存在を知ってもらうためのパンフレット

売り手市場と言われる現在の就職活動状況では、就活生は大企業や知名度のある会社を優先させる傾向にあるようです。実績のある中小企業であっても、名前を知らなければ、就活生は興味を持ちません。まずは、「この会社、何の会社なんだろう?」と興味を喚起することが必要のようです。

今回の魅力発信グランプリで学生がとった手法は…

- ・表紙には「この会社なんだろう?」と思わせたり、「このキャッチコピーってどういうこと?」と興味をそそる仕掛けを作る。
- ・表紙に名前から連想される事業内容のイメージをあえて持って来ない。
- ・他社はA4サイズのパンフレットが多い中、カバンに入れやすいB5サイズにする。
- ・専門用語は使わず、誰でもわかりやすい表現におきかえる。
- ・就活生に馴染みやすいポップなカラーや表現を採用する。
- ・学生は活字を読まない。⇒極力文字数を減らし、写真、図、イラストなどで伝えたいことを表現する。
- ・キャッチコピーや自己診断ができるような参加型にする工夫などで、就活生が「自分ごと」としてとらえられる仕掛けを作る。
- ・入社後の自分の成長が想像できる内容(研修プログラム、年数を追っての仕事の変化)や一日のスケジュールが知りたい。
- ・女性の採用に力を入れたと思っている会社なら、表紙のデザインを華やかな「カワイイ」ものにする。

などの提案がありました。

○「会社が伝えたいこと」より「学生が知りたいこと」を優先

「会社が伝えたいこと」は、事業内容や会社の製品や技術力、業界内での優位性が優先されます。しかし、今回の魅力発信グランプリのプレゼンからは、学生の興味関心は、「自分がこの会社でどういう風に働いていくのか」にあるように思われます。全10社の発表のうち、7社のパンフレットに「先輩社員の1日のスケジュール」や「入社後の成長年表」が掲載されており、「会社が伝えたいこと」より大きなスペースが割かれていました。

○学生の価値観に合わせる

パンフレットは学生が読みやすいカタチにすることが大事です。

現在の学生の傾向から見てきたのは、

- ・縦書きより横書きの方が読み慣れている
- ・活字ばなれしているため、一目見て理解できる写真やイラストを多用する
- ・数字はグラフや図形におきかえる
- ・硬いイメージより柔らかいものやポップなものが好まれる
- ・長文は読みにくいので、センテンスは短く
- ・キャッチコピーで興味を引きつける
- ・ネット情報の方が気軽にアクセスしやすい

ということでした。

パンフレットにはたくさんの情報を詰め込むのではなく、簡単明瞭で興味を引く内容を記載し、さらに「知りたい」と思った就活生には、詳細を記載したWEBページへQRコードでリンクするという提案もありました。今やスマートフォンは学生の必須アイテム。まずはパンフレットで会社を知ってもらい興味をもってもらったら、すぐにWEBへ誘導して詳しい情報をとというのも、有効な手段のようです。

また、会社の良さをアピールするために、サークル活動のこととか、定例的な飲み会のことをアピールしている会社もありました。しかし、それを発表した学生に「君は入社したらこの飲み会に参加するか？」という質問がありましたが、その学生の返答は否定的なニュアンスでした。学生個人の嗜好の問題もありますが、少なくとも会社がいいと思っていることと学生のいいと思っていることとの間には、かい離が存在するということだけは、理解しておいた方がよさそうです。

(注)「QRコード」は(株)デンソーウェーブの登録商標です。

○見てもらえるコンテンツ

今回の魅力発信グランプリでは「学生が知りたい内容、学生に見てもらえるコンテンツを知る」ということが、一番重要な点でした。各企業とも「学生が参加してくれたからこそそのいいパンフレットができた」とおっしゃっていただきましたが、次の課題は、「そのパンフレットをいかにたくさんの学生に届けるか」です。

パンフレットは、学生に会社のことを伝える一手段。「学生が知りたい内容、学生に見てもらえるコンテンツ」がしっかりしていれば、あとは、何をどう使って企業の情報を発信し、パンフレットを手にとってもらう機会を増やしていくかを考えなければなりません。

中国NBCとして、今後、「コンテンツをしっかりさせたうえで、どのような道具を使えば、効果的に学生に伝わるのか」ということも探っていきたいと思います。



今後のイベント案内

参加の申し込み等は、中国NBCのホームページ (<http://www.cnbc.or.jp>) トップページ上部のメニュー「催事・セミナー等申込み」をクリックしてください。

〈岡山支部催事〉

人間関係がうまくいけば、チーム力はアップする!! 「類人猿性格分類セミナー」

人にはそれぞれタイプがあり、そのタイプを踏まえてコミュニケーションをとったり仕事を割り振りふったりすれば、きっと状況は好転します。16期連続増収・9期連続増益を達成しているスーパー「エブリイ」の原動力となっている「類人猿性格分類」をご紹介しますことで、中小企業が少しでも元気になるお手伝いをします。

日 時：平成29年2月7日（火）14時～17時

会 場：岡山商工会議所 1F大会議室（101、102）〈岡山市北区厚生町3-1-15〉

定 員：先着60名限定（ただし会員、会員以外とも原則1社3名まで）

受講料：無料

〈山口支部催事〉

ニュービジネス・カフェ

「参加者全員で考えよう“山口ブランド”についての発信者と受信者のギャップ」

山口県の事業者は山口県の魅力を「やまぐちブランド」として発信していますが、他県の人々が感じている山口県の魅力との間にギャップがあるのではないのでしょうか。そのギャップが「やまぐちブランド」の力を阻害し、もしかしたら山口県の事業者の気づいていない「やまぐちブランド」を知るきっかけになるかもしれません。山口県以外からの参加者も交えた意見交換をし、「やまぐちブランド」についてのギャップを明らかにするとともに、そのギャップを解決するための方策を考えます。

日 時：平成29年3月14日（火）14時～16時

会 場：リゾートホテル美萩 2F会議室 〈県萩市堀内菊ヶ浜485〉

参加料：無料

〈備後支部催事〉

「スカイアクティブエンジン開発から学ぶニュービジネス誕生のヒント」

平成28年度全国発明表彰「恩賜発明賞」・第66回自動車技術会賞「技術開発賞」・5年連続「日本カー・オブザイヤー」など数々の賞に輝いている、マツダ新世代クリーンディーゼルエンジン「SKYACTIV-D」テクノロジー。そのエンジン開発の主導者、人見光夫氏に、ものづくりの現場における開発のプロセスやそこから学ぶニュービジネス誕生のヒントについてお話しいただきます。

日 時：平成29年2月24日（金）18時～19時30分

会 場：尾道商工会議所

参加費：無料

一般社団法人 **中国地域ニュービジネス協議会**
(略称：中国NBC)

〒730-0017 広島市中区鉄砲町1-20 第3ウエノヤビル7F

TEL 082-221-2929 FAX 082-221-6166

URL <http://www.cnbc.or.jp>



機関誌「BACK UP」 Vol.1 1 (2017年1月号) 3ページ 広島支部の催事トピックスの記事中、(株)EVENTOSの社長のお名前に誤りがありました。お詫びして、訂正いたします。

(正) 「12月は(株)EVENTOSの川中社長の卓話付・・・」

(誤) 「12月は(株)EVENTOSの中川社長の卓話付・・・」